

令和元年度 学校経営方針

1 校訓

『確かさ 豊かさ たくましさ』

2 学校教育目標

『自信と誇りに満ちた指中生』

自ら学び続ける生徒
心豊かな生徒
健康でたくましい生徒
人とのかかわりを大切にする生徒

3 学校経営基本方針

- (1) 目指す学校像 生徒の望ましい成長を支援する場
学びがいのある学校 託しがいのある学校 働きがいのある学校
- (2) 目指す生徒像 活気・正義・真心ある生徒 学校の顔としての生徒
意欲的に学習に取り組む生徒 きまりを守る生徒 自分と友達を大切にする生徒
- (3) 目指す職員像 熱意・誠意・創意にあふれる職員
厳しくも温かい職員 生徒を大切にできる職員 よい授業ができる教師
- (4) 基本方針 「生徒の力を 生徒の力で 生徒とともに」
教職員の指導の下、生徒の主体的な活動を推進
- (5) 今年度の重点項目とさいたま市教育委員会の3つのG とのかかわり
○やり抜く力で真の学力を育成すること (Grit)
○国際社会で活躍できる人材を育成すること (Global)
○一人ひとりの成長を支え生涯学び続ける力を育成すること (Growth)
 - ① よい学年、よい学級づくりの推進 (Growth)
 - ② よい授業の実践と学力向上 (Grit)
 - ③ 信頼関係を基盤とした生徒指導の充実 (Global)
 - ④ 豊かな心と健やかな体の育成 (道徳教育の充実) (Grit)
 - ⑤ 安心・安全な教育環境の整備と充実 (Growth)
 - ⑥ 開かれた学校づくりの推進 (家庭や地域との連携) (Global)
- (6) 今年度の重点項目に関わる具体的な取り組み

学校教育目標・今年度の重点項目等を踏まえた学年・学級経営

① よい学年、よい学級づくりの推進 (Growth)

集団の充実

- i 組織的な指導体制
学年主任を中心とした組織的な指導を展開する
- ii 協調と創意を基盤
学年カラーを基調とした学級カラーを創り出す
- iii 生徒主体の教育活動
満足感や所属感を実感できる集団を育成する

②よい授業の実践
と学力向上
(Grit)

◆理科教育の充実

◆特別支援教育の拡充

授業の充実

- i 意欲を高め、学力をつける授業の展開
生徒が生き生きと主体的に学習する授業を展開する
- ii 個に応じた指導の充実 特別支援教育の拡充
毎時間、生徒一人ひとりの学習状況を把握する
- iii 家庭学習の定着 学力アップ問題と扇シール
家庭での復習予習につながる指導を実施する

○学習指導

よい授業を実践し、学習への興味関心を高め、学力を身に付けることができるようにする

○総合的な学習の時間

問題の解決や探究活動に主体的、協働的に取り組む態度を育て、実態に応じた学習を展開する

○特別支援教育

個々の教育的ニーズに応じた指導・支援の充実を図り、組織的に支援できる体制を構築する

○学校図書館教育

朝読書を活用し、読書の楽しさを知り、よい本にふれる読書習慣を形成する

○情報教育

正しい情報モラルを育成するとともに、情報活用能力を伸長する

③信頼関係を基盤
とした生徒指導
の充実(Global)

生活の充実

- i 規範意識の高揚
毅然とした指導を共通実践する
- ii 社会に必要な資質・能力の育成
集団のなかで生きていくスキルを高める
- iii 自己存在感の感得
特別活動を中心とした積極的な生徒指導を展開する

○生徒指導

規範意識を高め、実践力の向上により、社会の一員として生きていく力を身に付けさせる

○特別活動

生徒一人ひとりのよさや特性を生かした生徒による活動を推進する

○キャリア教育・進路指導

自分のよさや可能性を知り将来を考えるなかで、主体的に進路選択できる能力や態度を身に付ける

○潤いの時間

社会の一員として生きていくことができるコミュニケーション力と人間関係スキルを向上させる

○国際教育

自国を愛する心を育成し、国際的な視野や感覚をもてるようにする

④豊かな心と健や
かな体の育成
(Grit)

◆道徳教育の研究・実践

◆学校における食育の充実

心と体の充実

- i 道徳授業の充実
道徳科に向けた研究と指導力の向上を推進する
- ii 多様な価値観の感得
様々な生き方にふれる体験活動から、思いやりの心を育てる
- iii 奉仕精神の充実
事前に予定を知らせボランティア活動の機会を増やす

○道徳教育

多様な生き方や価値観にふれ、豊かな心を育てる授業の充実を図る

○体力向上

健康な身体の重要性を理解し、体力作りに取り組む意欲と実践力を育てる

○健康教育

健康の保持推進と「いのちの週間」を中心にした生命尊重教育を推進する

○食育

心が豊かに、体が健やかになる食育を展開する

○福祉教育

社会の一員としての自覚と責任を持ち、ボランティア活動への積極的な参加を推進する

○人権教育

自他ともに認め合える心と態度を育成し、人権意識を高める

⑤安心・安全な教育
環境の整備と充実
(Growth)

安心できる場

- i 教育相談の充実
生徒の小さな変化に気づき、声をかける 教育相談面談の充実
- ii きれいな学校
清掃活動を中心に、清潔感のある環境を整備・維持する
- iii 季節感のある学校
緑化活動を中心とし、花のあふれる学校環境とする

○教育相談

自分を大切にできる、自分に自信がもてる生徒を育成する

○環境教育

整備された施設設備と美しい自然のなかで、心の安定を図る

○安全教育（引渡し訓練、安全点検の重視）

防災、交通安全への意識・知識・能力の向上を図り、自助・共助ができる態度を育成する

⑥開かれた学校
づくりの推進
(Global)

家庭や地域との連携

- i 情報の共有化
たよりやHPの充実により地域の声を教育活動に活かす
- ii 保護者の参加
学校行事・あいさつ運動への参加協力を促進する
- iii 学校評価システムの充実
保護者・地域の声を学校経営に反映させる
- iv 小・中一貫教育の展開
積極的な交流による一貫性のある教育を展開する

◆小・中一貫教育の推進

◆SSNの充実

○関係諸機関との連携

校区小学校との交流により9年間を見通した一貫性のある指導体制を確立する

校区高等学校、特別支援学校、公民館との連携及び地域活動への参加を促進する

○地域の学習環境の活用

土曜チャレンジスクールの実施により、地域ぐるみで生徒の自主的な学習をサポートする

○学校評議員制度の充実

学校評議員制度を活用し、学校評価を適切に実施して学校経営に反映させていく

○学校支援体制の確立

地域で見守るスクールサポートネットワークを充実させる